

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 廿日市市立宮島小学校

① 学習指導案

プログラム	No.11 「地域景観プランナーになろう」
単元名 (全32時間)	宮島の町並みを伝えよう
学習のねらい	宮島を取材し、町家の歴史や保存の課題を整理する活動を通して、町家にかかわる人たちの思いに気づき、地域のために自分たちにできることを考え、町家のよさや課題に対する自分の思いを伝えるなど、進んで地域に働きかけ行動しようとする。
学習内容	1 宮島の町家通りについて調べよう 2 町家通りについて知り、深めよう 3 調べたことを発信しよう 4 学習をふり返ろう
参考資料	重要伝統的建造物群保存地区 廿日市市宮島町
準備品	電子黒板 Chromebook デジタルカメラ プロジェクター
実施場所等	教室 体育館 町家通り

学習の流れ


時間	学習活動	教師の指導	評価
4	<p><b>【課題の設定】</b></p> <p>○担当課（廿日市市役所歴史まちづくり推進係）の方から町家の現状と課題を聞き、「観光客に町家のことを伝えてほしい」という願いを受け取る。</p> <p>○町家について知ったことや分かったことをまとめる。</p> <p>○まとめたことや、市の担当者の願いを踏まえて、単元のゴールを設定する。「観光客や宮島学園のみんなに町家のことを伝えよう」</p> <p>○「住む人、商売をする人、行政、宮島学園6年生」の町家に対する思いが大切であることに気付き、取材計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町家のつくりについての話を聞く。</li> <li>・町家の現状や課題についての話を聞く。</li> <li>・町家を知っているかアンケートをとる。</li> </ul>	<p>○毎回の授業において、めあてに対して、「①本時でできたこと・分かったこと、②本時をふまえて、次回やりたいこと」、を書くことで、活動をふり返り、自分がしたいことを見つける。</p>	<p>自己のふり返りから目標を設定し、課題の解決に向けて行動しようとしている。【主体】</p> <p>町家の歴史や保存の大切さを伝えるために、調べる方法や手順を話し合っている。【思・判・表】</p>
8	<p><b>【情報の整理・収集】</b></p> <p>○町家について分かる場所や人を訪れたり招いたりして、取材する。</p> <p>（町家に暮らす人・観光客）</p> <p>○わかったこと・考えたことを共有する。</p> <p>○課題を設定する。「身近な人達に、町家のことを伝えよう」</p>	<p>○児童自らが取材先を決め、直接インタビューを行ったり、学校に招いたりする機会を設ける。</p>	<p>見学やインタビューによる調査を相手や場面に応じて実施している。【知・技】</p> <p>町家について、必要な情報を収集している。【思・判・表】</p>
4	<p><b>【整理・分析】</b></p> <p>○集めた情報の内容を歴史や</p>		<p>町家について集めた情報を観点に沿</p>





7	<p>地域の方の思いなど項目ごとに分類する。(つくり・課題・思い)</p> <p>○収集した情報をどのような方法で伝えるのかを考える。</p> <p>○伝える内容ごとのグループにわかれ、伝えたい内容を精査する。</p> <p>○精査した上で必要な情報が足りない場合は取材し直す。</p> <p><b>【まとめ・表現・創造】</b></p> <p>○伝える内容を分担し、まとめる。</p> <p>○発表会の準備をする。</p> <p>○練習の様子を撮影し、改善を図る。</p> <p>○文化発表会で発表する。(学園生・地域・保護者)</p>	<p>○発表や表現の場を複数設け、異なる相手に自分たちの言葉で伝える活動の充実を図る。</p>	<p>って分類整理している。【主体】</p> <p>地域の人や文化等のかかわりを通して、町家のよさや人々の思いや願い、地域のよさが分かる。【知・技】</p> <p>相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめている。【思・判・表】</p>
2	<p><b>【整理・分析】</b></p> <p>○文化発表会で学園生や地域の方、保護者から受けたアドバイスをもとに訂正する内容を精査していく。</p> <p>○京都大原学院とリモートで交流し、宮島のことを伝える意欲をもつ。</p>	<p>○文化発表会后に聞き手に対してアンケートをとることで、自分たちが伝えなかったことが本当に伝わったのかを振り返り、次の発表や表現に生かす。</p>	<p>自己の振り返りから目標を設定し、課題の解決に向けて行動しようとしている。【主体】</p>
5	<p><b>【まとめ・表現・創造】</b></p> <p>○精査した内容をまとめる。</p> <p>○大原学園が修学旅行で宮島に来た際、町家を含めた宮島ガイドを行う。</p> <p>○より多くの人に町家のことを伝えるため、観光客に向けたポスターを作成する。</p> <p>○町家通りや宮島棧橋等にポスターを掲示する。</p> <p>○ポスターをetto宮島交流館に置かせてもらい、町家のことが伝わったかフォームでア</p>	<p>○普段の友達との会話が盛り上がる理由を考えさせ、ロールプレイングを用いて、会話の練習をさせる。</p> <p>○写真撮影は、地域のアマチュアカメラマンに依頼し、指導・助言を受ける。</p>	<p>相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめている。【思・判・表】</p> <p>自他のよさを生かしながら、協力して課題を解決しようとしている。【主体】</p>

2	<p>ンケートをとる。</p> <p><b>【振り返り】</b></p> <p>○アンケートの結果をもとに自分たちの活動を振り返る。</p> <p>○「私は宮島とどうかかわっていきたいか」を振り返る。</p>	<p>○町家だけでなく、これまで学習してきた宮島にかかわることについて、宮島ファイルを用いて振り返らせ、宮島に対する愛着や誇りに気付かせる。</p>	<p>町家に関する理解や大切にしたいという思いの高まりは、探究的に学習してきた成果であると気付いている。<b>【知・技】</b></p> <p>自分たちの生活や宮島の未来を考える大切さを理解し、地域に働きかけようとしている。<b>【主体】</b></p>
---	--	--	---





② 事業実施報告書詳細





学校名 廿日市市立宮島小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
4	教室	<p><b>【課題の設定】</b></p> <p>○担当課（廿日市市役所歴史まちづくり推進係）の方から町家の現状と課題を聞き、「観光客に町家のことを伝えてほしい」という願いを受け取る。</p> <p>○町家について知ったことや分かったことをまとめる。</p> <p>○まとめたことや、市の担当者の願いを踏まえて、単元のゴールを設定する。「観光客や宮島学園のみんなに町家のことを伝えよう」</p> <p>○「住む人、商売をする人、行政、宮島学園6年生」の町家に対する思いが大切であることに気付き、取材計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町家のつくりについての話を聞く。</li> <li>・町家の現状や課題についての話を聞く。</li> <li>・町家を知っているかアンケートをとる。</li> </ul>		<p>町家通りや町家があることは知っていたけど、詳しく知らないね。観光客に知られていないことは知らなかった。</p> <p>どうして観光客は、町家のことを知らないのだろう。</p> <p>町家に住む人たちは、本当に町家のことを観光客に宣伝してほしいと思っているのかな。</p> <p>誰に聞けば町家のことを教えてくれるのだろう。</p>

8	町家通り       教室	<b>【情報の整理・収集】</b> ○町家について分かる場所や人を訪れたり招いたりして，取材する。（町家に暮らす人・観光客） ○わかったこと・考えたことを共有する。 ○課題を設定する。「身近な人達に，町家のことを伝えよう」	 	町家の中ってなんだか落ち着くな。 オウエという部屋があるのは宮島の町家だけなんだ。 町家を遺していくために，多くの人に町家の大切さを伝えよう。 文化発表会で，学園生や保護者，地域の人達に町家のことを伝えよう。
4	教室       町家通り	<b>【整理・分析】</b> ○集めた情報の内容を歴史や地域の方の思いなど項目ごとに分類する。（つくり・課題・思い） ○収集した情報をどのような方法で伝えるのかを考える。 ○伝える内容ごとのグループにわかれ，伝えたい内容を精査する。 ○精査した上で必要な情報が足りない場合は取材し直す。		宮島の町家の特徴をまとめよう。 現状や課題をまとめよう。  聞く相手は1年生もいるから，分かりやすい言葉で写真を多く入れよう。
7	教室	<b>【まとめ・表現・創造】</b> ○伝える内容を分担し，まとめる。 ○発表会の準備をする。 ○練習の様子を撮影		どの順番で伝えれば，聞く人は分かりやすいだろう。



	<p>体育館</p>	<p>し、改善を図る。 ○文化発表会で発表する。 (学園生・地域・保護者)</p>	  	
<p>2</p>	<p>教室</p>	<p><b>【整理・分析】</b> ○文化発表会で学園生や地域の方、保護者から受けたアドバイスをもとに訂正する内容を精査していく。 ○京都大原学院とリモートで交流し、宮島のことを伝える意欲をもつ。</p>		<p>アンケート結果から、内容が伝わったことが分かった。 行ってみたいと思った人が多かったから、現地で直接説明したいな。 今度、京都大原学院の6年生が修学旅行で宮島に来るから、町家ガイドをしたいな。 会話や意見交流をするためには、どのようなことに気をつければいいのだろう。 質問を求めるのではなく、こちらから質問しよう。</p>

5	<p>教室</p> <p>宮島内 町家通り</p> <p>町家通り 教室</p>	<p>【まとめ・表現・創造】</p> <p>○精査した内容をまとめる。</p> <p>○大原学園が修学旅行で宮島に来た際、町家を含めた宮島ガイドを行う。</p> <p>○より多くの人に町家のことを伝えるため、観光客に向けたポスターを作成する。</p> <p>○ポスターをetto宮島交流館に置かせてもらい、町家のことが伝わったかフォームでアンケートをとる。</p>	   	<p>ガイドをしながら町家のことを伝え、質問に答えたり感想を聞いたりした。</p> <p>京都と宮島の似ている点・違う点について交流できた。</p> <p>直接説明することで、町家について詳しく知ってもらえたけど、より多くの人に興味をもってもらうためにはどうすればいいだろう。</p> <p>観光客に向けた町家ポスターを作ろう。</p> <p>レイアウト・キャッチコピーが大切だね。</p> <p>ポスターを見て町家を散策してもらえたかな。</p>
2	教室	<p>○アンケートの結果をもとに、自分たちの活動を振り返る。</p> <p>○「私は宮島と、どうかかわっていきたいか」を振り返る。</p>		<p>これからも町家を守る活動に着目したいな。</p> <p>わたしは、宮島を出てもいつか帰ってきたい。</p> <p>行事のときは帰って参加したい。</p>



### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本単元では、「観光客に宮島の価値を伝える方法」についての問いを設定し、バックキャスティング手法を使用して、「10年後の宮島の町家の姿」を探求した。</li><li>・町家に関する知識や疑問を話し合い、興味のあるテーマを選んで課題を設定した。</li><li>・情報収集では、目的を意識して手段を選び、取材やインタビューを通じて直接情報を収集した。</li><li>・整理・分析では、情報を整理し、特徴を見つけることを促し、発表目的に合わせて情報を加工して活用した。</li><li>・まとめ・表現・創造では、複数の発表や活動を通じて、社会への参加意識を高め、異なる相手に情報を伝える力を養った。</li><li>・振り返りの場面を設け、自己成長につなげた。</li></ul>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・単元のゴールを児童同士の話し合いによって決めたが、決めるためには多方向へのインタビューが必要であることに気付いたため、決めるまでに時間を要した。</li><li>・ポスターを作成する際、写真の使用許可を得るためにどの機関に確認したらよいか分からず、許可を得るのに時間を要した。</li></ul>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>【児童の変容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・活動の視点が、自分のしたいことから町家の人が望んでいることに変わっていった。</li><li>・町家の存在が、宮島の文化財ではなく自分が繋いでいきたい宮島の文化財になっていった。</li></ul> <p>【児童の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・町家のために何をすればいいか考えた。次回は、みんなの意見を総合して何をすればいいかを見つきたい。</li><li>・取材活動で町家に暮らす人の話を聞いて、商売をしている人と生活をしている人の思いが違うことがわかった。</li></ul>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・町家で暮らす人々の願いや思いが1人1人違うことが分かり、町並みを保存していくことの難しさを実感した。</li><li>・児童は町家の課題を自分事と捉え、真剣に自分にできることを考えていた。その姿から、担任として自分にできることを考え児童のやりたいことをサポートすることができた。</li></ul>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童の振り返りから、ポスターを掲示することが本当に町家通りを守ることに繋がるのかという疑問が生まれていたため、ポスターを見た人にアンケートを行い、結果をフィードバックする。（ポスター内にアンケート用QRコードあり）</li><li>・アンケート結果を分析・考察し、8,9年生で行う個人探究に繋げていきたい。</li></ul>